

## 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究治験委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) 構築に関する研究 (NO.20)
研究責任者 (所属)	岡田恒作 (整形外科)
研究実施期間	2020/4/10~2030/3/31
研究等の概要	<p>公益社団法人日本整形外科学会が対象としている運動器疾患 (加齢性疾患、外傷、先天性疾患、感染、腫瘍など) は小児から高齢者まで幅広い国民が罹患し、国民の健康寿命を損なう主因の一つである。特に加齢により移動能力が低下し要介護のリスクがあるロコモティブシンドロームは推定患者数 4700 万人 とされ、社会の高齢化の影響を受けて年々増加の一途である。そして全国規模の包括的なレジストリーが存在しないため全容が不明のままである。</p> <p>大規模運動器疾患データベースを構築されることには以下のような意義がある。すなわち、1) 運動器 疾患に対する手術治療に関するビッグデータに基づいたエビデンスの構築、2) 専門医制度のための症例 データベース、3) 外科系学会社会保険委員会連合 (外保連) 試案の実態調査、製造販売後調査 (PMS)、新規医療技術の評価、重点的に対応すべき運動器疾患と手術法の提言など、さまざまな政策対応が可能などである。また、本領域では人工関節、骨固定材料など種々の体内埋込型インプラントを用いた手術が多く、その実施状況とアウトカムに関する情報は、国民健康向上の観点に加え、医療経済上も極めて重要と考えられる。</p> <p>日本整形外科学会倫理委員会および当院の倫理委員会承認後より登録を開始し、登録期間 は第 1 例目の登録から 10 年間とする。</p>

個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
問い合わせ窓口	臨床研究事務局 電話：048-665-6111